

1 社会・治安情勢

ザンビアの主要輸出品である銅の国際価格の下落傾向はあるものの、海外直接投資や非伝統的輸出製品の伸びを受けて、ザンビアのマクロ経済は引き続き好調に推移している。一方で、貧困率は依然として高く、特に首都ルサカ市、リビングストーン市観光地区、コッパーベルト州の主要都市等を中心に失業者やエイズ孤児等が溢れており、貧困に起因する犯罪が後を絶たない。

また、都市への人口流入と当局の治安維持能力の低さがこれを助長している。これに加え、周辺国の紛争発生時に難民と共に流入した軍用の銃器が依然として多く出回っているため、犯罪の手口が凶悪化、組織化している。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 在留邦人が多数居住し比較的安全とされている地域においても昼夜を問わず銃器を使用した複数犯による住居侵入強盗、車両強盗、路上強盗が頻発している状況であり、在留邦人がいつ被害に遭ってもおかしくない状況である。また、その地域を取り囲むようにコンパウンド（貧困層地区）が存在し、犯罪の温床となっている。さらには、若年層の新規雇用低迷、生活インフラ整備の不足等に対し、多くの人々が不満を抱えており、これが何らかのきっかけで抗議や暴動につながる可能性も排除されない。

(2) 邦人被害事案

1月20日未明、ザンビア地方部の小さな町に在住の邦人宅において、銃器等を保有した犯人が同邦人の住居に侵入し金品を強奪する強盗事件が発生した。同邦人は大きな抵抗をしなかったため暴行傷害等はなく金品のみの被害で済んだ。

(3) 邦人以外の被害事案

ア 強盗

(ア) 住居侵入強盗

1月17日00時30分頃、ルサカ市内のロスアンジェルスロードにおいて、インド人宅にAK47及び拳銃で武装した5人組が押し入り、現金、パソコン、携帯電話及び旅券を奪い逃走する事件が発生した。この他、当館で認知しているだけで同様の住居侵入強盗は、ルサカ市内で1月から3月までの間23件発生している。

(イ) 商店侵入強盗

2月4日04:00分頃、ルサカ市内チパタコンパウンド地区において、なたで武装した4人組が商店に侵入し、警備員1名を殺害し商品を強奪する事件が発生した。この他、当館で認知しているだけで同様の商店侵入強盗は、ルサカ市内で1月から3月までの間12件発生している。

(ウ) 車両強盗

2月5日23時00分頃、ルサカ市内チェルストン地区において、タクシーに乗車した4人組が銃でドライバーを脅し車両を強奪する事件が発生した。この他、当館で認知しているだけで同様の車両盗難はルサカ市内で1月から3月の間12件発生している。

イ 詐欺

ルサカ市内において偽札が発見される事件が発生している。この他、当館で認知しているだけで同様の詐欺事件はルサカ市内で1月から3月の間6件発生している。

ウ 強姦

ザンビアでは強姦事件が多数報道されている。

3 テロ・爆弾事件発生状況

当該事件の発生は認知していない。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

2月17日18時52分頃、ルサカ市内タウンセンターフリーダムウェイエリアにおいて、路上に子供を車に乗せたまま駐車し、ドライバーが車を離れた隙に子供と一緒に車両が盗難される事件が発生した。

5 日本企業の安全に関する諸問題

関連情報なし。